市政と山形地区を結ぶ総合情報紙

やまがた

総合支所だより No.15

2009 冬号

これからもずっと元気！

今号の主な内容

●ぐれっと！やまがた街道祭……p 2～3
●実践総合農学会　ほか……p 4～5
●おらほの話題……p 6～7
●お知らせ……p 8

ぐれっと！やまがた街道祭（けぇどおさい）

秋のやまがた ぐれっと！大盛況

初参加となった繋地区もこの大にぎわい

「ぐれっと！やまがた街道祭」（同実行委員会主催）が、10月10日と11日の2日間、山形町内16会場で開催されました。今年も多くの人が訪れ、秋の山形を大いに満喫しました。

秋と言えば「山形のぐれっと！」

今年で3回目となるぐれっと！やまがた街道祭。各地域の特色を活かして山形町をアピールし、多くの参加者が訪れました。来客の数も回数を重ねるごとに増え、秋のイベントとして定着しつつあります。

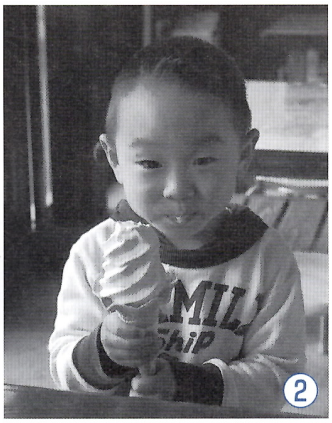
今回が初参加となった山野食の会（繋地区消防コミュニティセンター）は、2日間とも大勢の参加者でにぎわいました。田楽や11日だけ販売した短角牛串は大好評。山野食

参加者の声

訪れた皆さんから、アンケートをいただきました。その中のフリー記入欄の紹介をします。

▽はじめてやっていろんな場

「ぐれっと！やまがた街道祭」マップ　（　）内は参加団体

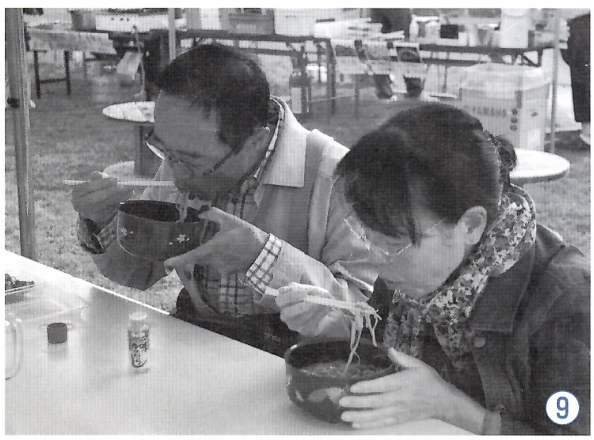


①民芸品が作られた明治の館
②おいしいソフトクリームが食べられるへろまち産直館
③つきたてのおもちが振る舞われた霜畑コミュニティセンター
④バッタリー村で「ほど」を囲んでのお茶会
⑤平庭市会場で販売された短角牛串
⑥成谷自然食の会のじゃっこは味噌味
⑦道の駅のソフトクリームも大人気
⑧繋地区でも短角牛串を販売
⑨好評だった日野沢水車パークの手打ちそば

の会の中居繁隆会長は、「よく繋にお越しくださった。10日だけで208人もの方が訪れた。市役所の応援もあったからこそここまでできたと思う。これからもどんどん新しいことに挑戦していきたい」と笑顔を見せていました。

前回は参加せず、今回が2回目の参加となった山の駅南部曲り屋の会（山の駅南部曲り屋）の高倉道夫副会長は、「やはりこの南部曲り屋に興味を持って来てくださる方が多い。山形町でも珍しいものなので、維持するのは大変だが我々も保存していきたい」と意気込みを語っていました。

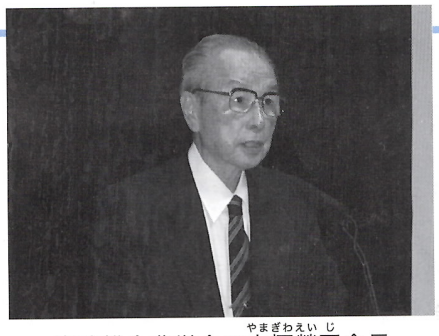
スタンプの数により山形町の特産品等の景品が当たるスタンプラリーにも大勢が参加しました。参加者は豪華景品獲得のために完全制覇を狙っていた様子。今年もぐれっと！やまがた街道祭に訪れた人の笑顔で溢れていました。



所に行ってスタンプをおしてすごく楽しかったです。またやりたいです。▽地元にいてもなかなか見られない内間木洞を見ることができて、うれしかったです。▽とてもよかったです。時間があれば来年もやりたいです。▽まめぶの汁が気に入りました。▽楽しかった。紅葉のころにまた来たいと思います。▽いろんな物を食べることができてよかったです。▽山形町内ははじめて出かける所もあり、これで全部行くことができ、いい機会を与えていただき感謝です。▽山形町は広く明るい町民で親しみを感じ、いつまでもこの企画を続けて下さい。

実践総合農学会第4回地方大会――

地域の活性化、山村の未来



実践総合農学会の山極榮司（やまぎわえいじ）会長

実践総合農学会は、自然環境と動植物、人間共生関係、食料、資源エネルギーなど、環境や健康に関わる問題を実践的・総合的に解明しようとする活動を行っています

①青木　辰司さん（東洋大学）
②門間　敏幸さん（東京農業大学）
③茂木　善治さん（岩手県久慈地方振興局）
④吉田　和生さん（大地を守る会）
⑤佐々木　廣さん（JA シンセラ）
⑥桑畑　　博さん（山根六郷研究会）
※役職名省略

「2009年度実践総合農学会第4回地方大会（久慈）」（実践総合農学会主催）が、11月14日と15日の2日間に渡りおらほーるを会場に開催されました。

実践総合農学会地方大会は今回で4回目。これまで熊本県熊本市、静岡県富士宮市、宮城県角田市で開催され、大きな成果を上げてきました。開会に先立ち、実践総合農学会の山極榮司（やまぎわえいじ）会長が「人的なつながりを重視し、地方での活動を行っている。本日の学会が有意義に、しかも実りの多いものになることを期待したい」とあいさつしました。

14日は、東洋大学社会学部長の青木辰司教授が基調講演を行いました。演題は「山村資源を活かしたグリーン・ツーリズムで地域を活性化する」。グリーン・ツーリズムとは、都市住民が農山漁村に滞在し、地域の自然や文化、人々との交流を楽しむ余暇活動のことです。

青木教授は、都市と農村との連携、共生的関係の必要性を説き、時折ユーモアも交えて講演しました。中でも、間違いだらけのグリーン・ツーリズムについて説明し、「団体客がわずか数時間だけ滞在するよりも、少人数でもいいから何日も滞在し、その地域の文化や伝統を学んでもらうことこそ真のグリーン・ツーリズムである」と熱弁し、会場に訪れた参加者も熱心に耳を傾けていました。

	パネラー	題　　目
第1報告	門間敏幸	農商(消)工連携による山村力で地域を活性化する ―その基本理念と成功事例―
第2報告	茂木善治	久慈地域の農畜産物の高付加価値化に係る施策と実践事例
第3報告	吉田和生	大地を守る会との連携で山村の産業・雇用を支える ―総合農舎山形村の実験―
第4報告	佐々木廣	地域密着型農産物直売所で地域を活性化する
第5報告	桑畑　博	地域内交流で山村文化の保全と集落活性化の実現 ―山根六郷「ふる里の四季を残す」―

その後の全体シンポジウムでは、「地域資源を活かした農商工連携と多様な交流で山村を活性化する」というテーマで5つの報告が発表されました。

15日の地域シンポジウムでは、「山村活性化の多様な担い手とその夢」というテーマで、パネルディスカッションパネラーとして町内の方を中心に10人が参加しました。岩脇ヨシエさん（農家民泊）、小笠原寛さん（林業経営）、上村信志さん（短角牛生産）、木藤古徳一郎さん（バッタリー村）、木藤古修一さん（総合農舎山形村）、下川原重雄さん（ヤマブドウ生産）、出町丈夫さん（民泊研究会）、戸崎武幸さん（菌床しいたけ生産）、長坂亜紀子さん（ホウレンソウ生産）、谷地司さん（木炭製造）が、自身の行っている取り組みや、そこから発展させたい夢について語りました。この後、会場に訪れた参加者から後継者問題や寒冷地気候の活用についての質問があり、パネラーはそれぞれの意見を交換しました。

別会場では個別研究報告も行われ、「食・農・環境に関わるユニークな実践事例、研究成果を報告する」と題し、東京農業大学や東北大学、日本獣医生命科学大学の生徒などが研究結果を発表しました。

今回の実践総合農学会は、山形町と東京農業大学双方にとって、実りの多い2日間となりました。

木藤古修一さん

木藤古徳一郎さん

上村信志さん

小笠原寛さん

岩脇ヨシエさん

谷地司さん

長坂亜紀子さん

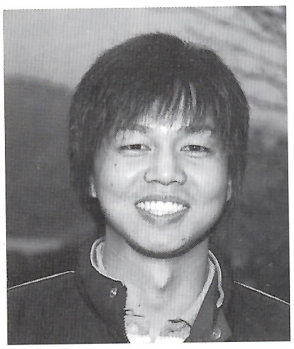
戸崎武幸さん

出町丈夫さん

下川原重雄さん

出番だ～す

フレッシュさん



「ドライブや車いじりを楽しんでます」

栃元（とちもと）　慎治（しんじ） さん（川井）

―自分の性格を一言で―
結構人見知りするほうです。

―休日の過ごし方―
小・中とサッカーをしていて、今は車をいじって楽しんでいます。

―今挑戦してみたいこと
サッカーのヨーロッパチームの試合を観戦しに行ってみたい！

―好きな女性のタイプ
話し上手で明るい人がいいです。

―最後に一言―
農家の方に１日でも早く顔を覚えてもらいたいです。

プロフィール

■年　齢　21歳
■血液型　O型
■勤務先　ＪＡ新いわて農業協同組合
久慈営農経済センター

木炭品評会

谷地司さんが2部門で最優秀賞

表彰を受ける谷地司さん

11月14日に、「第49回農林水産祭参加行事　平成21年度岩手県木炭品評会」（社団法人岩手県木炭協会主催）が、盛岡市の農林会館で開催され、谷地司さん（川井）が「黒炭切炭の部」、「黒炭長炭の部」の2部門で最優秀賞に輝きました。

「黒炭切炭の部」では県内から53点が出品され、久慈市からは12人が参加、「黒炭長炭の部」では、県内から28点が出品され、久慈市からは4人が参加しました。そのほか、「茶炭の部」や「白炭の部」も行われ、合計で１０２点が出品されました。

硬度や精練度、包装などの項目が採点され、特に断面は縦割れがないか、光沢があるかなど厳しく審査されます。

数多く出品された中から厳選され、２つの部門でトップに輝いた谷地さんの木炭。受賞の気持ちを聞くと「できることをやってきた中でいただいた賞。非常に嬉しい」と語ってくれました。

最優秀賞に輝いた「黒炭切炭」

大地を守る会

初めての植樹を通して

11月1日、「短角牛の里と都市を結ぶ集い実行委員会」主催の植樹会が成谷牧野で行われ、「大地を守る会」会員が参加しました。

「大地を守る会」から参加したのは大人と子どもを合わせ8人で、成谷牧野組合員とともに植樹を行いました。植樹した苗木はコナラ、クヌギ、ヤマグリ、ブナの4種類で、1メートルほどの大きさでした。植樹する苗木を数種類に分ける理由は、1種類だけだとその木を好む昆虫が集中してしまうため、昆虫の分散を図る方法として数種類に分けるということです。これを混植といいます。

植樹会に参加した大地を守る会の会員

植樹した苗木の根本に土をかけ、踏み固める作業は、土に含まれている水分の蒸発を防ぐ働きをします。

この日植樹した苗木は、4種類合わせて１８０本。雨がぱらつき、風も強い天候の中行われた植樹会ですが、参加者は鍬（くわ）やスコップを手に黙々と作業していました。

「㈱大地を守る会」の吉田和生畜産水産グループ長は「試験的ではあるが、今回が初めての植樹となる。春植えにも参加予定である。自然環境のためにも、雨や風に負けず大きく育ってほしい。」と今回の植樹会に手応えを感じていました。

急斜面での植樹作業

感謝の気持ちをお祝いで

山形地区敬老会

食事や会話を楽しむ参加者たち

今年も「山形地区敬老会」が、10月2日に山形B&G海洋センターで開催されました。

この日は対象者565人のうち、226人が参加し、久々に会う友人や知り合いとの話に華を咲かせていました。

お祝いに訪れた荷軽部保育園の園児たちからは「おじいちゃん、おばあちゃん、これからも元気に長生きしてください」と感謝の言葉が贈られました。その後に行われた園児たちによるステージ発表に、参加者たちは時折手拍子をしながら、満面の笑みで見入っていました。

園児から肩たたきのサービス

今年は13人が米寿（88歳）を迎え、その一人の嵯峨ツギさんは「山が好きで、今でもよく歩いている。この前もマツタケをたくさん採ってきた。それが長生きの秘訣かもしれない。」とコメント。同じく米寿を迎えた内坪フクエさんは「敬老会を大いに楽しんでいる。長生きの秘訣は、仕事をして体を動かすこと。」と、お二人ともパワフルな一面も語ってくれました。本会ではカラオケなどの余興や盆踊りも行われ、会場は終始笑い声の絶えない楽しい雰囲気に包まれていました。

米寿を迎えた皆さん

今年米寿を迎えたのは次の皆さんです。※敬称略

（大正10年4月2日～大正11年4月1日生）

卯坂フユ（小国）、内坪フクエ（同）、下屋敷スミヨ（同）、二橋タカ（同）、下平キクノ（関）、小田ミノエ（霜畑）、嵯峨ツギ（同）、長内ハルエ（川井）、蒲田セン（同）、清水ソガ（同）、落合ヨシエ（来内）、大峰キエ（荷軽部）、前野ツネ（戸呂町）

楽しいイベントを満喫

第13回農業まつり

恒例の交通安全祈願もちまき

11月3日、「第13回農業まつりJA山形」（山形支所農業まつり実行委員会主催）が、農協野菜集出荷場前広場で行われました。

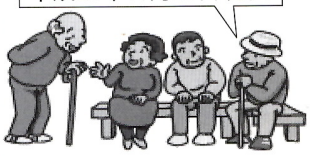
当日は天候にも恵まれ、約300人が訪れました。今年で13回目となり、短角牛のもも丸焼きが試食として振る舞われたほか、農畜産物などの販売が行われました。「交通安全祈願もちまき」や「ジャンケン大会」、「競市（せりいち）」などのイベントも行われ、会場は大いににぎわいました。また、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会では一層の盛り上がりを見せ、今年の農業まつりも大盛況となりました。

お楽しみ抽選会の目玉、液晶テレビが当たり大盛り上がり！

平成21年度 山形町長寿番付

地区	氏名	年齢	地区	氏名	年齢
川井	下平ヨシ	100歳	霜畑	下曽根コノエ	94歳
繋	沼袋マサ	99歳	霜畑	戸﨑ミヨ	94歳
霜畑	田端サヌ	98歳	霜畑	田端ツエ	94歳
繋	夕向ハナ	97歳	霜畑	川村トセ	94歳
川井	角ツキ	96歳	霜畑	茅平ニノエ	94歳
霜畑	八幡チヨ	96歳			
川井	吉村芳光	95歳			
来内	橋本ヒデ	95歳			

平成21年11月26日現在



Topics トピックス 注目！牛が大活躍

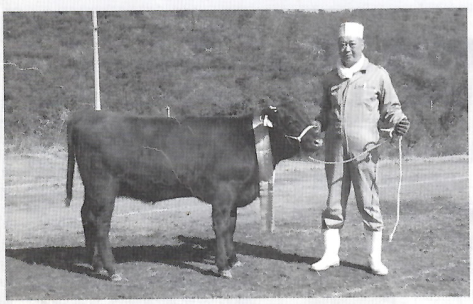
今年最後の闘牛大会！

10月18日に、「めんこいテレビ杯　平庭闘牛大会もみじ場所」（いわて平庭高原闘牛会主催）が平庭高原で開催されました。山内市長は「子牛は遊びたい気持ち半分で闘うが、成牛は相手の一瞬のすきを突き攻撃する。今日はそんな迫力ある闘いがご覧になれると思う」とあいさつ。1200人以上が訪れた当日は、前頭から横綱まで14組の取組が行われ、迫力ある闘いに観客から大きな歓声が上がっていました。綱を外し、勢子の掛け声だけで取り組まれた特番の「平庭嵐」と「花次郎」の闘いは特に盛り上がり、今年最後の闘牛大会も大成功に幕を閉じました。

闘志がぶつかり合った迫力満点の闘い

「わかな21」号が名誉賞受賞

第61回九戸地方日本短角種子牛共進会（久慈市・新岩手農業協同組合主催）が、10月20日に旧九戸家畜市場で行われました。雌子牛の体格の良さなどを競う本大会には、市内の子牛生産農家から33頭が出品されました。多くの雌子牛から今年の名誉賞に輝いたのは、上村信志さん（荷軽部）が出品した「わかな21」号。体の締まり具合や毛づやの良さなどが賞の決め手になったということです。この日は、出品者などが参加して審査するジャッジングコンテストも行われ、上位５人に景品が配られるなど大いに盛り上がりました。



「わかな 21」号と上村信志さん

芸術の秋盛大に

山形地区総合文化祭

大勢の人でにぎわった２日間

山形地区総合文化祭（同実行委員会主催）が、10月24日と25日の２日間開催されました。

当日は、おらほーると山形福祉センターを会場に開催され、２日間で１２２１人と多くの人が訪れました。

会場では、児童や生徒、一般の方の作品が展示され、書道や写真、盆栽などの作品に、訪れた人たちは興味深そうに見入っていました。

午後からは、山形中学校の生徒による合唱発表が行われました。迫力とまとまりのある合唱目標に取り組んできた生徒たちの歌声がステージに響き渡り、観客から大きな拍手が送られました。

今年度末で閉校となる山形校は、総合文化祭と同時開催で山高祭を行い、バザーや屋台で販売活動を行いました。生徒会長の小田春恵さんは「母校が閉校になるのは寂しいが、地元の人たちに恩返しという感謝の気持ちを込めて、最後の文化祭を楽しみたい」と思いを語ってくれました。

温かいまめぶを販売する山形校の生徒

食べることから学ぼう

地産地消ふれあい給食

オスとメス２尾のサケで解体実演！（小国小学校）

地産地消ふれあい給食が、11月10日、24日に町内各小学校で行われました。

10日は、翌11日が「サケの日」であることから、サケのもみじ揚げがメニューに登場。小国小学校５年生の柿木啓弥くんは「普段このサケのメニューが出ることがないのでおいしいです」とおいしそうにほおばっていました。

24日は、短角牛の牛丼と豪華なメニュー。ふれあい給食を行った山形小学校の１年生は、おかわりをするなど食欲旺盛な姿を見せていました。

みんなで味わう楽しい給食時間（山形小１年生教室）

お知らせ

山形校卒業式、閉校式典のご案内

たくさんの思い出が詰まった山形校

今年度末で閉校となる久慈高等学校山形校の閉校式典・感謝の集いが、卒業式終了後、おらほーると平庭山荘を会場に開催されます。

また、61年の歴史を刻んできた山形校最後の卒業式がおらほーるで行われます。

同窓生や町内の皆さんの参加を呼びかけています。

■日時　平成21年3月4日(木)

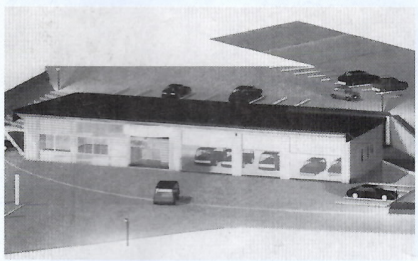
■時間　卒業式…10時～（おらほーる）

閉校式典…13時30分～（おらほーる）

感謝の集い…15時30分～（平庭山荘）、集いの会費3,000円（当日）

参加を希望される方は、平成22年1月22日（金）までに岩手県立久慈高等学校山形校山高に感謝する会委員会事務局☎72―2034まで問い合わせください。

消防署山形分署 来年春完成予定



山形分署の完成イメージ

久慈消防署山形分署が、新設されることになりました。

建築場所は、山形総合支所の敷地内（旧山形診療所跡地付近）になります。

完成は来年の3月下旬の予定となっています。

山形のカレンダー 12月～2月

月	日	曜	行事
12	6	日	海洋センターバレーボール大会
	13	日	海洋センターゲートボール大会
	19	土	平庭高原スキー場オープン
1	1	金	平庭高原スキー場ニューイヤーフェスタ
	24	日	山形地区バスケットボール交流会
2	11	木	内間木洞氷筍観察会
	13	土	平庭高原スキー場まつり
	21	日	山形地区卓球大会

※日程は変更となる場合がありますのでご了承ください。

12月19日(土) 平庭高原スキー場オープン

今年も、この季節がやってきました。楽しいイベントがたくさん！

なお、オープンは、積雪の状態によりずれ込む場合もあります。詳しくは、同スキー場（☎72-2944）または平庭山荘（☎72-2700）へ。

表紙の写真

10月２日にＢ＆Ｇ海洋センターで行われた山形地区敬老会。世代を超えた触れ合いに、皆さんの笑顔が輝いていました。

盆栽からマツタケ？

盆栽の根元に生えたキノコ

10月24日、25日に行われた山形地区総合文化祭から、ちょっと驚きの話題が。松坂義雄さん（川井）が出品した盆栽「赤松」の幹のそばから、何とキノコが。前日はよく目を凝らさないと気付かない程度だったそうですが、わずか１日でニョキっと生えてきたそうです。珍しいことですが、まれにキノコが生えてくるそうです。

編集後記

▽冷え込みも厳しくなって、冬本番と言った感じですね。山形町はやっぱり寒くなるのが早い！旧久慈市内から通勤している㊥は雪道運転ちょっと不安です（汗）皆さんも運転には気をつけてください。▽新型インフルエンザが流行しています。お出かけの際はマスクをするなどして予防し、帰宅したら手洗いうがいを心がけましょう。健康が一番！（中村）

ＮＴＴ退職者の会から暖かい贈り物

11月20日、ＮＴＴ（旧電電公社）退職者で組織している「ＮＴＴ労組退職者の会・久慈地区協議会」が、愛山荘（社会福祉法人山形福祉会設置）に会員持ち寄りのタオルや箱ティッシュなどを約300点贈りました。社会福祉施設等に、会員がタオルなどを持ち寄って届ける取り組みは今回で７回目。山形地区の会員である佐々木リサさんが、山形福祉会の戸﨑武文理事長に手渡しました。同会の澤山幸壽会長は、「タオルやティッシュは入居者の自己負担であることが多いので、皆様の役に立てるこの活動に手応えを感じている」と語ってくれました。

贈り物を手渡す佐々木さん

「やまがた総合支所だより」2009冬号　No15　平成21年12月１日発行（次回は３月ごろの予定です）
発行・岩手県久慈市　編集・山形総合支所ふるさと振興課（〒028-8602 久慈市山形町川井8-30-1 ☎72-2111㈹109）